



分取クロマトグラフィーシステム Pure 特別価格キャンペーン

キャンペーン期間
2020年7月末まで

フラッシュ分取クロマトシステム
Pureシリーズを **特別価格で!**

24%引き



UV 検出器
専用

フラッシュ分取

耐圧:5MPa

Pure C-810 セット

内訳:

- C-810本体
- 試料管ラック×2
- 溶媒容器台
- ガラス試料管

※別途圧縮ガスの接続が必要

キャンペーン価格

¥2,150,000



UV+ELSD
検出器

フラッシュ分取

耐圧:5MPa

Pure C-815 セット

内訳:

- C-815本体
- 溶媒容器台
- 試料管ラック×2
- ガラス試料管

※別途圧縮ガスの接続が必要

キャンペーン価格

¥3,450,000



UV+ELSD
検出器

フラッシュ分取
+
HPLC 分取

耐圧:30MPa/5MPa

Pure C-850 セット

内訳:

- C-850本体
- 溶媒容器台
- 試料管ラック×2
- ガラス試料管

※別途圧縮ガスの接続が必要

キャンペーン価格

¥5.300,000

Pure の優れた性能

革新的 分取精製中に、グラジエント条件等の設定変更が自由自在に調整可能

独創的 UVとELSDの2つの検出器を1台に内蔵、見逃しのない分取が可能に

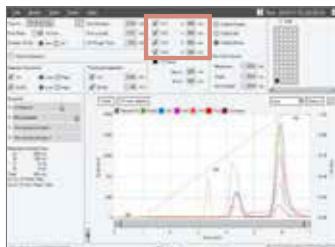
※C-810はUV検出器のみ

画期的 フラッシュとHPLCの両モードでUVとELSDをトリガーとした分取精製を実現

※C-850

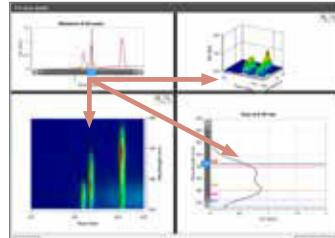
Pure UV 検出器の優れた特長

特長 1 UV4波長 + スキャンの最大5トリガー



特長 2 UVピークのスペクトル情報が

入手可能(PDA機能)

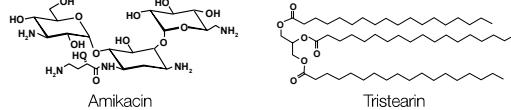


ELSD 分取とは？

“UV 吸収のない” 化合物の分取精製には、従来まで RI 検出器(示差屈折率検出器)を用いてきましたが、

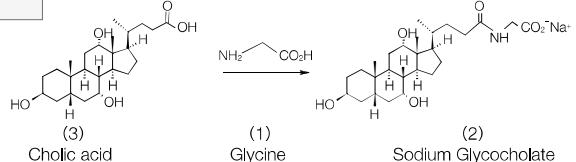
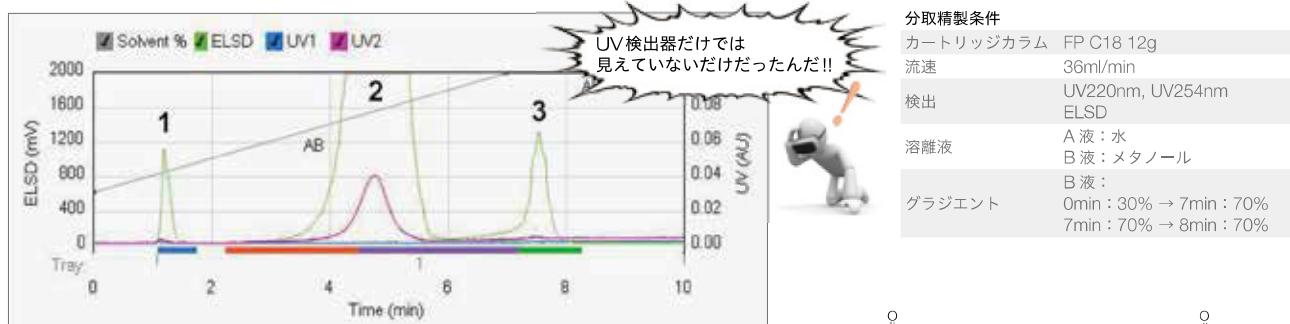
1. グラジエント分取ができない、2. 感度が低いといった問題点があります。

RI 検出器の欠点を克服



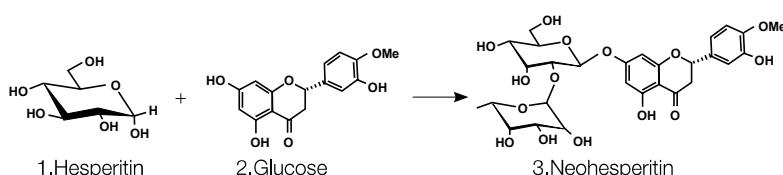
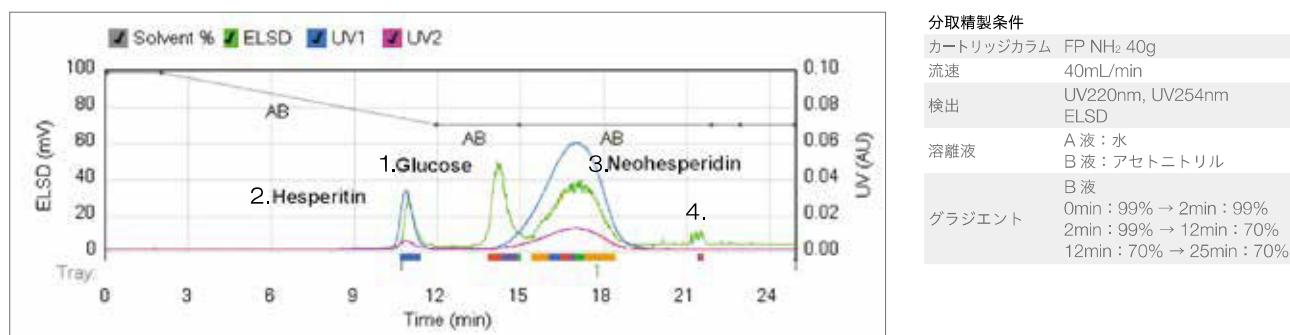
ELSD(蒸発光散乱検出器)は、溶出液を噴霧・溶媒のみを蒸発させ、残った試料微粒子に光を照射して、

散乱光の強度を測定する検出器です。糖、ペプチド、脂質等の“UV 吸収のない” 化合物の分取精製に有効です。



ELSD を分取トリガーにするメリット

- UV 分取で見逃していた化合物を分取可能 (4,1)
- 反応効率をクロマトで確認する上で有効 (2は反応前化合物, 1は未反応試薬のピーク)



※本アプリケーション: アミノカラムを使用した HILIC モードの分取精製事例です。HILIC モードは逆相モードと異なり、高比率の有機溶媒と低比率の水を用いた分取精製を行うため、精製後において濃縮の生産性がアップします。

Quality in your hands

柴田科学 正規代理店
IRIE SHOKAI 株式会社 入江商会

本社 東京都千代田区神田佐久間町3-37
TEL 03-3862-7531 FAX 03-3862-7550
神奈川営業所 神奈川県横浜市戸塚区矢部町1666-76
TEL 045-861-2121 FAX 045-861-8702
E-mail: info@irie-shokai.co.jp
URL: http://www.irie-shokai.co.jp

SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.
柴田科学株式会社

本社 〒340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62
東京営業所 ☎ 03-3822-2111 福岡営業所 ☎ 092-433-1207
大阪営業所 ☎ 06-6362-7321 仙台営業所 ☎ 022-207-3750
名古屋営業所 ☎ 052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)
TEL 0120-228-766 FAX: 048-933-1590

LINE

お得な情報・うれしい情報を届けています。
ぜひ、お友だち登録をお願いします。



- このカタログに記載の価格および仕様、外観は2019年12月現在のものです。
- 製品改良のため、仕様および外観が予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- カタログの色と実際の製品の色とは、多少異なる場合があります。
- 本カタログに記載の価格には消費税は含まれておりません。
- ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
- 有機溶媒を使用される際は、適切な排気装置が付いた部屋でご使用ください。